



# News Letter

2024.8.30  
Vol.1

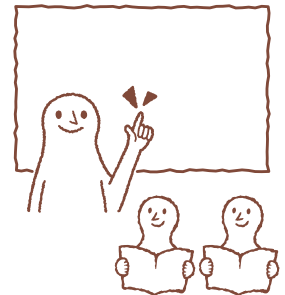
CONTENTS

- |       |  |     |                       |
|-------|--|-----|-----------------------|
| P.2-3 | Pick up NPO<br>・特定非営利活動法人 NEXTしらかわ<br>・特定非営利活動法人 相馬救援隊 | P.6 | ひろがる協働のみらい            |
| P.4-5 | 年間講座案内   | P.7 | 無期転換ルール変更について         |
|       |  | P.8 | ほっと一息ブレイクタイム<br>助成金情報 |

## 今年度のサポセン事業をご紹介します

### NPO強化による地域活性化事業「NPO活動促進事業」

今年度もNPOの組織力を強化するため、運営に必要な基礎知識や応用力を向上させるための各種講座、各参加団体の運営を強化するゼミの開催、情報発信などを行っています。また、各自治体・中間支援センターとの情報交換会を行うことで、組織基盤やネットワークの形成、協働等について考え取り組んでいます。相談窓口では、スタッフのほか、税理士・行政書士・社会保険労務士などの専門家による無料相談を行っています。



### 福島特定原子力施設地域振興交付金事業 「チャレンジインターンシップ事業」

学生の皆さんが県内のNPOの活動に参加し、福島県の復興、地域の課題解決について学び・体験する機会を提供するチャレンジインターンシップ事業を実施します。今年度はインターン活動をするにあたり、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により充実したインターン活動ができるようになりました。これにより、インターン生30名と受入を行うNPO18団体でのインターンシップ活動は、よりアグレッシブな活動と成果が得られることが期待されます。

### 「NPO、企業等との連携事業」及び 「ふるさと・きずな維持・再生支援事業事務業務」

福島県では、NPOと企業等との協働事業を推進しています。NPOと企業等の多様な主体が、互いの立場を尊重し、それぞれの強みや特性を活かして協働することにより、人口減少社会の地域コミュニティの再生や多様化する地域課題の解決に取り組むことを目指します。本事業では、NPOと企業等との協働に関するシンポジウムや協働実現に向けた伴走支援等を行います。



「ふるさと・きずな維持・再生支援事業」は、東日本大震災による原子力災害に係る風評払拭の取り組みや震災を契機とした復興支援の取り組みに対して補助をし、本県のきずなの維持・再生を図ることを目的としています。今年度は採択を受けた17団体の事業が実施されており、サポセンでは活動期間中の相談対応や会計処理のアドバイスなどを通して、事業が円滑かつ効果的に進められるようにサポートを行っています。



## 特定非営利活動法人 **NEXTしらかわ**

白河市



<https://nextshirakawa.org/>



白河市の次世代のために



特定非営利活動法人NEXTしらかわは、理事長坂本さんのボランティア活動がきっかけで2019年に設立されました。「プログラミングの考え方である細分化は思考に役に立つ。子どものころから触れていれば、もっと良い社会になるのではないか」と考えた坂本さんは子ども食堂でプログラミングを教え始めました。法人5年目の現在、子ども食堂「みらい子ども食堂」、女性の居場所「みらいずshirakawa」、スクールグッズシェアリングなど、幅広く活動しています。

2020年、プログラミング教室を兼ねた子どもの居場所づくりを始めました。無料で始めた取り組みでしたが、参加費を500円と打ち出したところ、ぱったりと子どもたちが来なくなりました。「たった500円、どうして!?!」お母さんたちへの聞き取りから、お金を出せない家庭の事情が見えてきました。「子どもの生活は家庭環境に左右される。子どもたちに学ぶ機会を与えるには、お母さんへの支援が先じゃないか」そう考えた坂本さんは、これまでの活動にも取り組みつつ、貧困家庭向けの生活困窮支援を始めました。しかし、生活困窮と掲げたことで利用者が通いづらいという問題が発生しました。そこで、助成金を活用し、生きづらさを

抱える女性の支援を始めました。それが現在の「みらいず」です。ここでは、貧困だけでなく、DVや引きこもりなど、悩みを抱えた多くの女性たちを支えています。

子どもの教育サポートから始まり、「有料化」をきっかけに子どもの貧困原因を突き詰め、今の活動にたどり着いた坂本さん。現在取り組んでいる活動は、一見バラバラなようですべてが紐づいています。「子どもたちの成長を感じられることが嬉しい」と坂本さん。子どもたちの学ぶ機会を奪いたくないという強い想いは、現在も活動のすべてを無料で提供し続ける理由に繋がっています。NPO活動への批判、理解が得られない辛さから、くじけそうになったこともあったそうですが、最近では少しずつ理解者が増えてきているといいます。

今後は女性の居場所づくりを発展させていく予定で、ここに来てくれた女性たちが再出発できる希望の場所にしたいと考えています。地域の子どもたち、お母さんたちを全力でサポートするNEXTしらかわ。周りの人たちの言葉を確実に形にしてきた坂本さんの言葉には、頼もしさと温かさが感じられました。NEXTしらかわの今後の活動から目が離せません。

## 特定非営利活動法人 **相馬救援隊**

南相馬市



<https://www.instagram.com/sart34org/>



[https://www.facebook.com/sohma.aid/?locale=ja\\_JP](https://www.facebook.com/sohma.aid/?locale=ja_JP)



「相馬藩」で人と馬と自然との共生

相馬家第34代当主の相馬行胤<sup>みちたね</sup>さんが理事長を務める特定非営利活動法人相馬救援隊。2011年に発生した東日本大震災後、有志で集まったメンバーで、個人から寄付された物資の仕分けや運搬等、被災者への支援活動から始まりました。

野馬追をはじめとする馬文化の継承をミッションに掲げ、2018年から馬に関する事業を始めました。引退馬のセカンドキャリアとして、野馬追に出る馬の育成をメインに、地域内外の方に馬と触れ合う機会をつくるイベントの開催や、馬事文化の振興普及に努めています。

「馬は人の気持ちを動かし、笑顔を引き出してくれます。純粋に、馬と触れ合って楽しんでほしい。非日常を味わい、リフレッシュしてほしい。笑顔になった方からいただける『ありがとう』が何よりのやりがいです」と話すのは事務局の中澤さん。生き物と関わる以上、怪我や病気に配慮する大変さはあると思いますが、辛いことよりも楽しいことの方が断然多いそうです。

昨年、相馬さんは浪江町で一般社団法人SOMAを立ち上げ、地域住民とのコミュニティの場として〈ノーマの谷〉を

創りました。今後、相馬救援隊はノーマの谷の重要な活動の一翼を担っていきます。ノーマの谷のテーマは、人と馬と自然との共生で、乗馬トレッキングやレッスン、オープンデーなど、人と馬が触れ合える場所づくりを目指しています。また、学びの機会もつくっていきたくており、遊びに来てくれた方も一緒になってみんなでノーマの谷を創りあげていくつもりだそうです。「もしかしたら永遠につくり続けることになるかもしれません…」と笑って話す中澤さん。敷地内に置いたトレーラーに電気と水道を通す工事を、専門家と一緒にスタッフが自分たちの手で行いました。「私たちは東日本大震災を経験し、人間の無力さを痛感しました。有事に耐え、生きる力を身につける、そんなことを改めて考えられたらいいと思います。一度ゼロになった場所なので、やることはすべてプラスになると考えています」と中澤さん。

大人も子どもと一緒に学び、楽しみ、喜びを味わえる場所、ノーマの谷。ここが賑わい、「相馬藩」が活気を取り戻す日はそう遠くはないかもしれません。

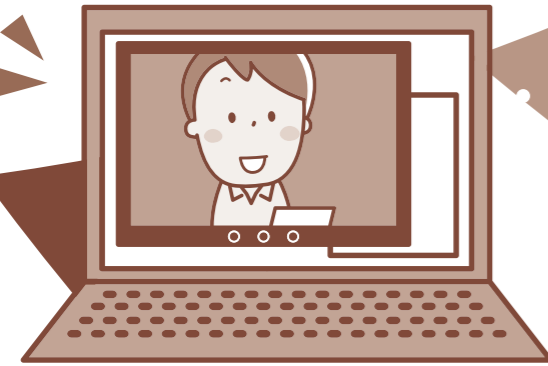
ノーマの谷 <https://nomavalley.jp/>



令和6年度

ふくしま地域活動団体サポートセンター

# 講座開催予定



## 1 想いを伝える講座

オンラインとのハイブリッド開催

日時:2024年10月3日(木) 14:00~16:00  
講師:浅井美絵氏(ファンドレイザー)

言葉で想いを伝えようとするとき、うまく言葉にできず、相手に自分の想いが伝わらなかったという経験はありませんか?頭の中で考えていることをそのまま言葉にするのは簡単なようで意外と難しいものです。自分の想いを相手に伝えるコツを学んでみませんか?



## 4 NPO職員向け初任者研修

※オンライン参加要相談

日時:第1回/2024年10月17日(木) 第2回/2024年11月14日(木)  
第3回/2024年12月19日(木) ※全3回すべて14:00~16:00

講師:深澤秀樹氏(認定NPO法人ふくしまNPOネットワークセンター 常務理事)  
内山愛美氏(ふくしま地域活動団体サポートセンター 統括)

時間と余裕がないために初任者研修ができないNPOは少なくありません。この研修では、社会人としての基礎を含めたNPOの基本を学びます。参加者の輪から仲間やネットワークが広がるかもしれません。



## 2 インターネット活用講座

オンラインとのハイブリッド開催

日時:2024年11月8日(金) 13:30~15:30  
講師:久野雅己氏(株式会社ソーシャルスピーカー 代表取締役)

事務作業をもっと効率的にこなし、活動を充実させませんか?イベントの申込み用紙やアンケート用紙の作成に時間がかかりがちですが、Googleの機能を使ってこれらを作成すれば、二次元コードから簡単にアクセスし、集計までできてしまいます。広報に役立つHP・SNSの活用法豆知識もお伝えします。



## 5 会計実務と決算事務

オンラインとのハイブリッド開催

日時:2025年1月30日(木) 14:00~16:00  
講師:加藤彰子氏(特定非営利活動法人岡山NPOセンター)

年度末が近づくと増える相談のひとつに事業報告書があります。特に財務諸表は多くの団体の悩みの種になっています。日ごろからきちんと会計をしていれば何も難しいことはありません。今回はベテラン担当者から、初心者でも分かる会計のポイントを学びます。



## 3 助成金講座 ~基本編~

日時:2024年11月28日(木) 14:00~16:00  
講師:手塚明美氏(認定NPO法人藤沢市民活動推進機構 理事長)

助成金の探し方、申請の仕方(書き方やコツ)を学びます。助成金申請がはじめての方も苦手意識のある方も一緒に助成金申請のポイントを学んでみませんか?資金調達のひとつとして活用してみましょう。



## ふくしまNPO経営者ラボ ※オンライン参加要相談

開講式:2024年9月19日(木) (以降毎月1回程度開催)

NPOの経営者を対象に少人数のゼミをつくり、ゼミ生同士で互いの課題を抽出。リーダーとして自身がどうあるべきか?組織に何が必要か?を考え、ゼミ生同士切磋琢磨します。ゼミの内容やスケジュールは、ゼミ生と事務局で検討し、講師を招へいしたり、振り返り、地域のニーズ調査などを行います。



開催場所など詳細が決まり次第随時WEBサイトやチラシでお知らせいたします。講座は全て無料でご参加いただけますのでお気軽にお申し込みください。 ※掲載内容については変更となる場合があります。

# ひるがる協働のみらい



「NPO、企業等との連携・協力事業(マッチング事業)」では、県内のNPOと企業等が協働しやすい環境を整え、地域の課題解決に向け、相互理解のもとに、それぞれの強みや特性を活かし協働することを推進しています。

## …… NPOと株式会社いちいとの取り組み紹介 ……

NPO法人チームふくしまや一般社団法人CARNIVAL WORKS、共生社会ふくしま実現協議会と株式会社いちいとの協働の取り組みを紹介します。

NPO法人チームふくしまとの協働では、同団体が運営する無人のフードバンク「お互いさま倉庫・コミュニティフリッジひまわり」の食品保管および受け渡しの施設として、同社が社員寮として借り上げている施設の一角や駐車場を提供しています。

当初、アパートの一角からはじまった取り組みですが、同施設に移転したことにより、いちいの近隣店舗の駐車場も活用でき、利用者の利便性はさらに向上しています。団体にとっても運営コストの低減が図られることで、活動の継続につながっています。

一般社団法人CARNIVAL WORKS(無料塾FOUR'S STUDIO)との協働では、同社店舗の一部を提供し、子ども食堂型の無料塾を定期開催しています。活動の運営には、店舗近隣の高校生・大学生ボランティアスタッフも多く参加し、楽しみながら学ぶ地域の場づくりの実現に寄与されています。地域に密着し、地元の方々を大切にしている同社の理念にも結びつきます。また、同社の桑折町の店舗へも波及するなど、協働の輪はひろがっています。

共生社会ふくしま実現協議会(障がい者福祉事業所の商品販売)との協働では、いちい全店に授産品の常設の売場を提供しています。授産品の販路拡大することで、工賃の向上、障がいのある方たちの社会参加に大きく貢献をされています。また、品質の高い、良い商品売ることは同社にとっても大きなメリットとなります。

NPOと企業との協働には、目的の共有や出会う場が少ないこと、そして継続することの難しさがあります。協働事業に果敢にチャレンジする企業の紹介を通じて、NPOと企業等との協働の輪をひろげていくサポートをしていきます。



### 【株式会社いちい】

本社所在地／福島県福島市さくら一丁目2番地の1  
TEL 024-594-1111(代) <https://www.ichii-yume.co.jp/>

# 2024年4月～ 無期転換ルールが 変わりました!

無期転換ルールとは?

労働契約法の改正により、同一の使用者との間で、有期労働契約が更新されて通算5年を超えたときに、労働者の申込みによって無期労働契約に転換されるルールです。

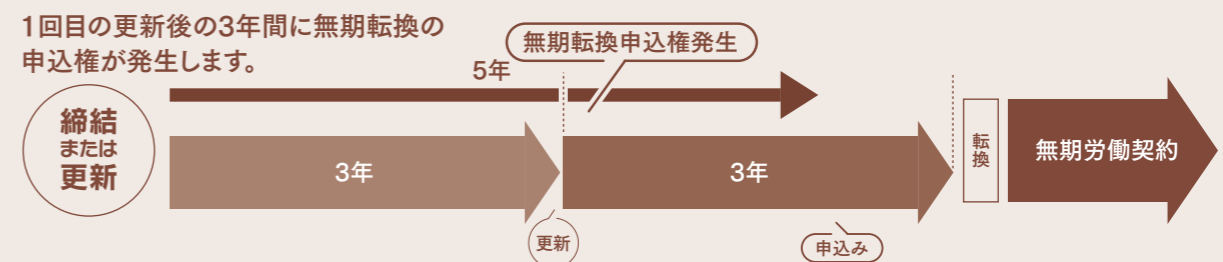
## 労働契約の締結・更新のタイミングの 労働条件明示事項が追加されます

明示のタイミング	新しく追加される明示事項
全ての労働契約の締結時と有期労働契約の更新時	① 就業場所・業務の変更の範囲
有期労働契約の締結時と更新時	② 更新上限(通算契約期間または更新回数の上限)の有無と内容併せて、最初の労働契約の締結より後に更新上限を新設・短縮する場合は、その理由を労働者にあらかじめ説明することが必要。
無期転換ルールに基づく無期転換申込権が発生する契約の更新時	③ 無期転換申込機会 ④ 無期転換後の労働条件併せて、無期転換後の労働条件を決定するに当たって、就業の実態に応じて、正社員等とのバランスを考慮した事項について、有期契約労働者に説明するよう努めなければならないこととなる。

### 契約期間が1年の場合



### 契約期間が3年の場合



※平成25(2013)年4月1日以降に開始する有期労働契約が対象です。  
※令和6(2024)年4月1日から、無期転換ルールに関して、労働条件明示の項目が追加されます。



## 手作りパン&コーヒー Cafeだんでらいおん

運営：特定非営利活動法人がんばろう会



※ご購入後、店舗内での飲食が可能です。

平田村にある障がい者就労継続支援B型事業所「だんでらいおん」が運営する「パンCafeだんでらいおん」。食べた人に自然と笑みがこぼれるようなパン作りを目指す、地元で愛されるパン屋さんです。

パンの中に包むクリームやあんこなども全てが手作り。ひと手間加えることにこだわりを持って作っています。“野菜不足の現代人のための地元野菜パン”をコンセプトにした季節限定の「ベジパン」も好評で、「じゃがいも食パン」や「さつまいもあんパン」など数種類展開しています。また店内では、手工芸品やクラフト袋なども販売しています。平田村にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

- パン各種 ..... 120円～400円
- 焼きたてピッツァ(マルゲリータ、バンビーノ) ..... 600円
- ホットコーヒー ..... 200円
- スムージー ..... 400円

住所／福島県石川郡平田村大字蓬田新田字大柏木219 TEL・FAX／0247-55-3839

【営業時間】平日10:00～16:00(都合により変更あり) 【定休日】土・日・祝日・8月10日～18日・12月28日～1月5日

# 助成金情報

チャレンジしてみよう!

NPO関連の助成金情報については  
当センターのウェブサイトをご覧ください。  
<https://f-saposen.jp/category/subsidy/>



### ◇環境

#### 第35回コメリ緑資金助成【支援元／公益財団法人コメリ緑育財団】

- 助成対象／ A.自然環境保全活動 B.里地里山保全活動 C.緑化植栽活動
- 申込期限／ A・B：2024年10月31日(木)消印有効 C：2024年10月21日(月)消印有効 ●上限金額／ 特になし
- 参考URL／ <https://www.komeri-midori.org/koubo/>



### ◇地域安全

#### 2025年度県域安全事業助成【支援元／公益財団法人日工組社会安全研究財団】

- 助成対象／ 安全・安心なまちづくり、青少年を守る対策、女性等を守る対策、その他犯罪情勢に対応した対策
- 申込期限／ 2024年10月31日(木)当日必着 ●上限金額／ 1件あたり80万円
- 参考URL／ <https://www.syaanken.or.jp/?p=13698>

### ふくしま地域活動団体サポートセンター

運営委託：福島県

運営受託：認定特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター

〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL.024-521-7333 FAX.024-523-2741

E-mail [saposen@f-npo.jp](mailto:saposen@f-npo.jp) URL <https://f-saposen.jp/>

◆県内の認証 NPO 法人団体 / 922 団体

◆認定 NPO 法人団体 / 22 団体 ◆特例認定 NPO 法人団体 / 0 団体 2024年7月31日現在

### 編集後記

歯が1本になった父、体調不良で緊急入院?!歯は大切!【内山】

反抗期男子のトリセツが欲しい... 【村松】

今から年末年始の長期休暇がたのしみです。 【伊藤】

健康管理の難しさを痛感するお年頃 【齋藤(美)】

食欲の秋が近づく中、今年は毎日体重計に乗らないと... 【阿部】

まだまだ暑い日が続くので、用心したいです 【穴戸】

様々な物の価格が右肩上がり。でも自分の肩は両肩下がり。【齋藤(宏)】

涼風の心地よさに少しだけ秋の気配を感じています。 【本田】